

第9章 体軸骨格：骨・関節学

- 体軸骨格の構成要素は、頭蓋・（①）・胸骨・肋骨の4つである。
- 脊柱の各領域内の特徴的な運動は、（②）関節の空間的な向きによって決まる。
- 脊柱の中で最も可動性が大きいのは（③）である。
- 臓器を支持～保護する胸郭は（④）・胸骨・肋骨で構成される。
- （⑤）は体幹全体の矢状面運動の回転中心を形成する。

脊柱	脊髄	環軸	椎間	仙腸
頭蓋	頸椎	胸椎	腰椎	仙骨

第9章 体軸骨格：骨・関節学

- 体軸骨格の構成要素は、頭蓋・（①**脊柱**）・胸骨・肋骨の4つである。
- 脊柱の各領域内の特徴的な運動は、（②**椎間**）関節の空間的な向きによって決まる。
- 脊柱の中で最も可動性が大きいのは（③**頸椎**）である。
- 臓器を支持～保護する胸郭は（④**胸椎**）・胸骨・肋骨で構成される。
- （⑤**腰椎**）は体幹全体の矢状面運動の回転中心を形成する。

脊柱	脊髄	環軸	椎間	仙腸
頭蓋	頸椎	胸椎	腰椎	仙骨